

単元構想シート

〇〇小学校 第2学年 国語科 単元名「なりきりペープサートをしよう！～想像したことを生かして読もう～」【お手紙】

全11時間

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。 [知識及び技能] (1)ク</p> <p>◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 [思考力、判断力、表現力等C] (1)エ</p> <p>○楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">二 三 の 側 面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">三 つ の プ ロ セ ス</p> <p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	--	---	---

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	○「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>≪第1次≫</p> <p>①学習の見通しをもつ。 ○教師が作成したペープサートモデルを動画（がまくんとかえるくんシリーズ）で見て、ゴールイメージをもつ。 □ゴールイメージや学習活動のイメージが具体的に分かるように、タブレットの中に見本となる動画を入れ、いつでも見られるようにしておく。 ○単元のゴールである「なりきりペープサート」をするためには、『想像して読むこと』が大切であるということを通理解し、学習の計画を立てる。 ○読み聞かせを聞き、挿絵を手掛かりとしながら物語の展開をつかむ。</p> <p>≪第2次≫</p> <p>②『お手紙』の中からペープサートにしたい大好きなところを見つけ、音読する。 ③並行読書の本から紹介したい話を選び、大好きなところを見つけ、音読する。 ○本文を繰り返し音読や微音読し、大好きだと思ふ場面を見つける。 □大好きなところは厳密な範囲指定はせず、「この辺が好きだな」という大まかなものでよいとする。 □自分でペアを見つけて交流ができるように、全文掲示にそれぞれの子どもの大好きなところが分かるように名前の付箋を貼る。 ④『お手紙』の大好きなところをペープサートを動かしながら音読する。 ⑤並行読書のお話の大好きなところをペープサートを動かしながら音読する。 ○本文を読みながらペープサートを動かし、場面の様子や登場人物の行動について、読みを確かにしたがり、具体的に想像したりする。 ○自分で交流する相手を決め、交流することでさらに想像を広げて読む。 □本文を音読しながらペープサートを動かすことで、文章から離れた想像にならないように支援する。また、交流によって想像を一層広げられるように支援する。 ⑥『お手紙』の大好きなところについて、ペープサートを使いながら想像を広げて読み、付け足しの一言を考える。</p>	<p>・「なりきりペープサート」を、学習のゴールとし、付け足しの一言を考える。 ⇒ペープサートを文章に即して動かすことで、誰が、どうして、どうなったのかについて読みを確かにしたがり、具体的に想像したりする手立てとする。また、その時の登場人物の行動や気持ちを具体的に想像する。【A1】【A2】【A3】【B1】【B2】【B3】</p> <p>・想像したことを添えて音読して表現することを繰り返す。 【A1】【A2】【A3】</p> <p>・自力解決とペア交流の行き来で学びを深める。 ⇒全文掲示や並行読書マトリクスを基に、自分で交流する相手を決め、交流することでさらに想像を広げて読む。 【B1】【B2】【B3】</p> <p>・教科書教材と並行読書をつなぐ単元構想【A1】【A2】【A3】 ⇒教科書教材で学ぶ活動と、並行読書で選んだお気に入りの話を教材として学ぶ活動を交互に設けることで、身に付けた力を活用し、確かな力とする。</p>	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す ・場面の様子に着目して、誰が、何をしたのか、どんな様子かについて叙述を基にペープサートの動きを考えている。</p>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る ・交流を通して、誰が、何をしたのか、どんな様子なのかを確かたり想像を広げたりする。</p>
		<p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする ・場面の様子に着目し、登場人物の行動や気持ちを具体的に想像し、付け足しの一言を考えている。</p>	<p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する ・交流を通して、登場人物の行動や気持ちをより具体的に想像し、付け足しの一言を考えている。</p>
		<p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする ・付け足しの一言の中から、とっておきの一言を決め、自分の考えを明確にできるようにする。</p>	<p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたがり、創造したりする ・交流することで、付け足しの一言の中から、とっておきの一言を決めている。</p>

⑦並行読書のお話の大好きなところについて、ペープサートを使いながら想像を広げて読み、付け足しの一言を考える。(本時)

- 付け足しの言葉を添えて何度も音読し、「もう付け足しの言葉は大丈夫」と思ったら付箋に記入する。
- 自分で考えたり、ペアと交流して考えたりすることを繰り返すことで、さらに想像を広げる。
- たくさん想像したことの中からとっておきの1つを決める。
- 吹き出し型の付箋に書くことが難しい子どもは、友だちと交流する中で、ヒントとなったことを音読し、付け足しの一言が考えられたらよいとする。
- とっておきの付け足しの一言を一つに絞ることで、自分の思いを明確にできるようにする。

⑧『お手紙』でペープサートを使って音読している姿をタブレットで撮影し、自分の音読の仕方を確かめたり、工夫したりする。

⑨並行読書でペープサートを使って音読している姿をタブレットで撮影し、自分の音読の仕方を確かめたり、工夫したりする。

- 大好きなところのペープサートを行い、友達にタブレットを使って動画を撮ってもらう。
- 自分の動画を見て、ペープサートの様子を確かめたり、ペアと交流したりすることで、さらに想像を広げたり、工夫したりできるようにする。

⑩『お手紙』で『なりきりペープサート』をする。

- 同じところを選んだ友達とグループになり、ペープサートをする。
- 学級のみみんなに向けて、ペープサートを行う。

⑪並行読書のお話で『なりきりペープサート』をする。

- 6年生に向けて、ペープサートを行う。
- 6年生から感想を聞く。
- 単元を通して学習を振り返る。
- 同じ本を選んだ子ども同士でブースを作り、屋台形式で発表をする。
- 時間内に同じ子どもが何度でも発表してよいこととし、発表を繰り返す中で学習してきたことを出し切れるようにする。
- 6年生には、あらかじめこれまでの学習で頑張ってきたことや発表のめあてを伝え、そのことについて感想を言ってもらえるようにする。
- 単元を通しての振り返りを行い、それぞれの子どもが学びを実感できるようにする。

◇ICTの活用

- ・教師が作成したペープサートモデル（がまくんとかえるくんシリーズ）のゴールや学習活動例を動画で見て、具体的なイメージをもつ。
- ・ICTを活用して、ペープサートを撮影し、確かめたり、さらに工夫したりする。
- ・毎時間、学習の成果として音読の姿をタブレットで録画して残せるようにする。【A1】【A2】【A3】【B2】